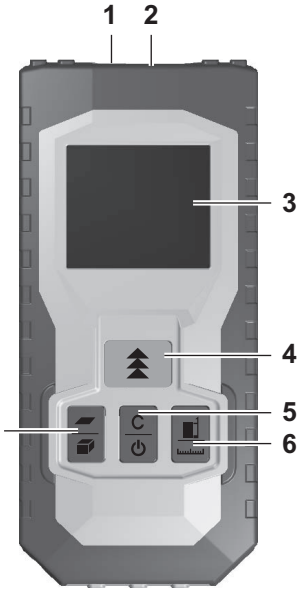
STABILA®

...sets standards

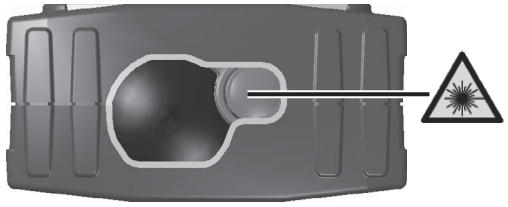
Laser Distancer LD 300

Ⓙ 取扱説明

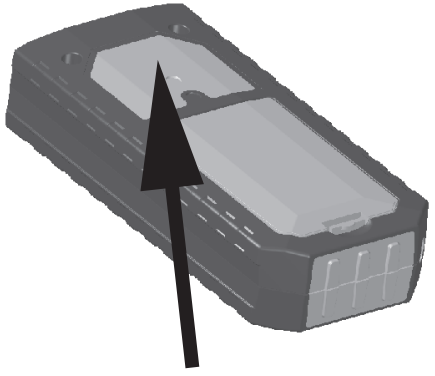
A

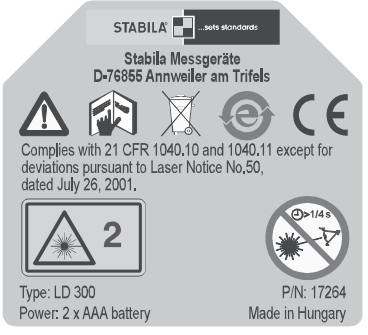


B

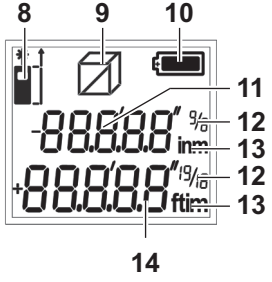


C

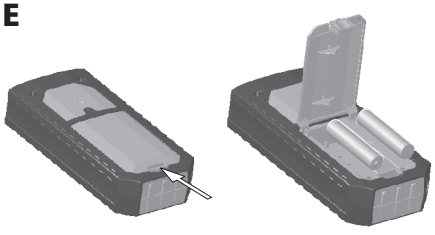



STABILA ..sets standards
Stabila Messgeräte
D-76865 Annweiler am Trifels
Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for deviations pursuant to Laser Notice No.50, dated July 26, 2001.
2
>1/4 s
Type: LD 300
Power: 2 x AAA battery
P/N: 17264
Made in Hungary

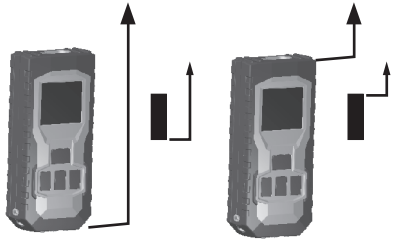
D



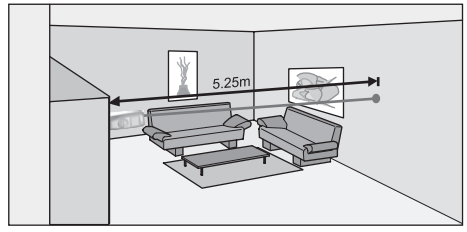
E



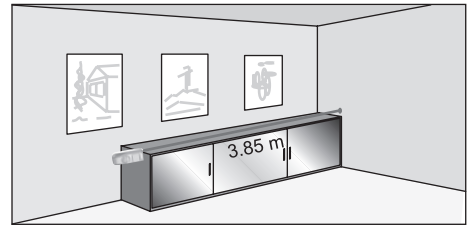
F



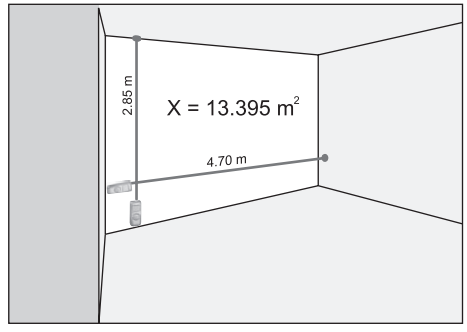
G



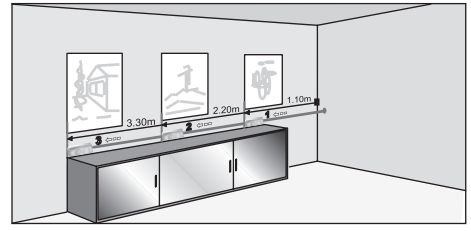
H



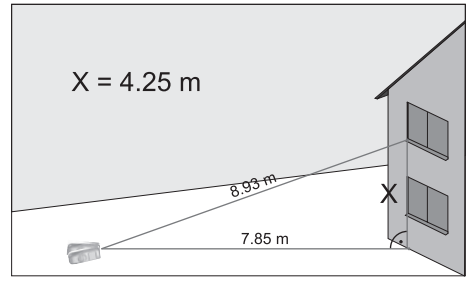
I



J



K



1 記号

1.1 警告表示

警告表示は、危険の種類によって異なり、次の記号で示されています :

➔ **注意** は物的損害を生じる可能性が高いことを示します。
➔ **警告** は人が傷害を負う可能性が高いことを示します。
➔ **危険** は人が死亡または重傷を負う可能性が高いことを示します。

警告表示の構成

注意喚起語

危険の種類と原因
➲ 危険を回避する対策。

1.2 その他の記号

注釈

注釈 : レーザー距離計の適切な取り扱いに関する注釈です。

取扱説明書

取扱説明書の構成 :
➲ 使用方法を解説します。

必要に応じて、結果も示します。

スケジュール

手順表示の構成 :
➔ 手順表示 レベル 1
➔ 手順 レベル 2

番号付きスケジュールの構成 :

1. 手順 レベル 1
2. 手順 レベル 1
   2.1 手順 レベル 2
   2.2 手順 レベル 2

2 安全と危険

➲ 本機をお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。
➲ 必ず取扱説明書に従って本機をご使用ください。
➲ 安全設定が無効になっていないことを確認してください。
➲ 説明や危険に関するラベルがはがれていないことを確認してください。
➲ ドライバーなどの工具を使用して本機を分解しないでください。
➲ 本機を改造したり、転用したりすることのないようにしてください。
➲ Stabila の承認を受けていない他の製造元のアクセサリを使用することは避けてください。
➲ 次の場合は、本機を不用意に使用しないようにしてください :
  ➔ 足場の上で作業しているとき
  ➔ はしごを登っているとき
  ➔ 稼働中の機械のそばで測定しているとき
  ➔ 保護されていない機械部品や設備の上で測定しているとき
➲ 太陽の直射視準は避けてください。
➲ 他者へのレーザー光の故意的な照射 (暗闇の中でも) は避けてください。
➲ 測定スペースが十分に確保されていることを確認してください。
(例えば、路上や建設現場など)
➲ 本機が良好で欠陥がない状態であることを確認してください。
➲ 欠陥品を使用しないでください。

3 適正な使用法

➔ 距離の測定
➔ 関数の計算
(例えば、面積や容積など)
➔ 人が通常に活動できる環境で、本機を使用してください。

4 予見可能な誤使用

➲ 本機をレーザポインタとして使用しないでください。
➲ 過酷な環境、あるいは爆発の危険がある環境で、本機を使用しないでください。

5 責任の範囲

5.1 オリジナル機器に対する製造元の責任範囲

Stabila Messger ä te, D-76855 Annweiler am Trifels
(以降 Stabila):
➔ Stabila は、取扱説明書と、安全上問題がない製品を供給をする責任があります。
➔ Stabila は、他の製造元が製造したアクセサリについては責任を負いません。

5.2 使用者の責任範囲

注意

修理による物的損害！

➲ 故障の際は、販売店までご連絡ください。

使用者は次のことを順守する義務があります:

➔ 本機の保護に関する情報と取扱説明書を理解すること。

➔ 使用地域(現場)における慣習に基づいた事故防止指令に熟知していること。

6 概要

6.1 キー

図 **A** 参照:

1. レーザー口径
2. 受光レンズ
3. ディスプレイ
4. オン / 測定
5. クリア / オフ
6. 測定基準 / 単位
7. 面積 / 容積 / ピタゴラス機能

6.2 ディスプレイ

図 **D** 参照:

8. 測定基準
9. 面積 / 容積 / ピタゴラス機能
10. 電池記号
11. 補助表示行
12. 分数 / 指数部
13. 単位
14. 測定結果行

7 起動

電池の挿入

図 **E** 参照:

➲ 製品を安心してご利用いただくために、アルカリ電池のみを使用してください。

➲ 電池カバーを外します。

➲ アルカリ電池（単 4 形 x 2 本）を挿入します。この際、電池の極性に注意してください。

➲ 電池カバーを閉めます。

電池の交換

➲ 電池記号が連続して点滅し始めたら、電池を交換してください。

8 操作

8.1 測定条件

測定の精度は測定する対象面に左右されます。

測定誤差

注意

不正確な測定結果の使用による物的損害！

➲ 距離測定中の予測しない事態による測定誤差を避けてください。

➲ 試験測定を行ってください。

以下の場合、測定誤差が生じる可能性があります:

➔ 無色の液体（水など）

➔ 埃のない透明のガラス

➔ ポリスチレンや同様の半透明の面

➔ レーザ光を拡散する反射性の強い対象

➔ 動いている物体を目的とした測定

原因:

➔ 反射性の強い対象の場合、レーザ光が拡散し、測定誤差を生じます。

➔ 光を反射しない面や暗い面の場合、測定時間が長くなります。

常に精度の高い測定を行うには、

➲ 定期的に試験測定を行ってください。

➲ 重要な測定の前後に試験測定を行ってください。

8.2 電源オン / オフ

➲ **4** キーを短く押すと電源がオンになります。

他のキーが押されるまで、電池記号が表示されます。

➲ **5** キーを押し続けると電源がオフになります。

本機は、180 秒間キー操作がない場合、自動的に電源が切れます。

8.3 クリアキー

➲ **5** キーを短く押すと、直前に行った操作を取り消します。

8.4 測定基準の調整

図 **F-H** 参照 :

測定基準の初期設定は、本体後端になっています。

➲ 本体先端から測定する場合は、**6** キーを短く押してください。
➲ 本体後端から測定する場合は、再度 **6** キーを短く押してください。

8.5 測定単位の設定

標準設定はメートル法です。

使用できる単位 :
➔ メートル法 / mm 表示

9 測定

9.1 距離測定

➲ **4** キーを短く押してください。
➲ 起動中のレーザーを測定対象に向けてください。
➲ **4** キーを短く押してください。
装置が距離を測定します。

結果は測定終了直後に表示されます。

9.2 連続測定

図 **J** 参照 :

この機能により、距離を連続して測定できます。

➲ **4** キーを押し続けてください。
連続測定が開始されます。
➲ **4** キーを短く押してください。
連続測定が停止します。

最後に測定した数値が、測定結果行に表示されます。

10 機能

10.1 面積

図 **I** 参照 :

➲ **7** キーを 1 回押してください。
面積記号がディスプレイに表示されます。
➲ **4** キーを押して、1 番目の距離を測定します (長さなど)。
➲ **4** キーを押して、2 番目の距離を測定します (幅など)。

この結果は測定結果行に、次の測定までの各測定距離は、補助表示行に表示されます。

10.2 容積

➲ **7** キーを 2 回押してください。
容積記号がディスプレイに表示されます。
➲ **4** キーを押して、1 番目の距離を測定します (長さなど)。
➲ **4** キーを押して、2 番目の距離を測定します (幅など)。
➲ **4** キーを押して、1 番目の距離を測定します (高さなど)。

この結果は測定結果行に、次の測定までの各測定距離は、補助表示行に表示されます。

10.3 ピタゴラス機能

図 **K** 参照 :

➲ **7** キーを 3 回押してください。
ピタゴラス記号がディスプレイに表示されます。
➲ **4** キーを押して、1 番目の距離を測定します (対角測定)。
➲ **4** キーを押して、2 番目の距離を測定します (水平測定)。

この結果は測定結果行に、次の測定までの各測定距離は、補助表示行に表示されます。

11 トラブルシューティング

➲「エラー」メッセージが装置の電源を繰り返し入れた後でも消えない場合は、販売店までご連絡ください。
➲「インフォ」メッセージが番号とともに表示された場合、次の表の指示に従ってください。

番号	原因	修正
204	計算エラー。	測定を再度行ってください。
252	装置の温度が高すぎます。	装置を冷却してください。
253	装置の温度が低すぎます。	装置を暖めてください。
255	受信信号が弱すぎます。測定時間が長すぎます。	対象面を変更してください（白紙など）。
256	受信信号が強すぎます。	対象面を変更してください（白紙など）。
257	測定誤差。周囲の光が強すぎます。	対象範囲を影で覆ってください。
258	測定範囲外の測定です。	範囲に気を付けてください。
260	レーザ光が遮断されました。	測定を再度行ってください。

12 技術データ

範囲	0.1m から 30m
測定精度 （標準偏差の 2 倍）	標準：± 2.0mm*
表示される最小単位	1mm
レーザクラス	2
レーザの種類	635nm, <1mW
自動電源オフ	180 秒後
連続測定	○
加算 / 減算	○
寸法（H × D × W）	116 × 51 × 26mm
電池寿命 （単 4 形 x2 本）	最大測定回数 3000 回
重量	110g
温度範囲： - 保存 - 動作	 –25°C から 70°C 0°C から 40°C

* 良好な条件（良好な対象面や室温）の場合、最大 10 m。太陽光が強い、対象面の反射が弱い、温度の変動が大きいといった、好ましくない条件の場合は、10 m 以上の距離を測定した際、誤差が ± 0.25 mm/m まで上がる可能性があります。

12.1 電磁適合性 (EMC)

警告

電磁放射による他の機器（安全機器、医療機器など）への干渉
➲ 各装置の安全上の注意をよくお読みください。

該当する指令や規格の全要件に準拠していますが、他の機器に干渉を起こす可能性を否定できません。

12.2 レーザクラス

Stabila LD 300 は可視のレーザ光を生成し、本体前面から照射します。

本機は、次の規格に基づく、クラス 2 レーザ製品です：
➔ IEC60825-1: 2007「レーザ製品の放射安全性」

クラス 2 レーザ製品

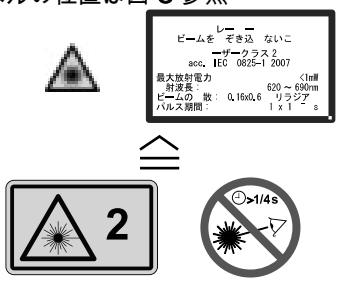
レーザ光を覗き込んだり、不必要に他の人に向けたりしないでください。通常は、まばたきなどの予防反応により、目は保護されます。

警告

レーザ光による人への傷害
➲ レーザ光を直接覗き込まないでください。
➲ 光学補助機器（双眼鏡や望遠鏡など）でレーザ光を直接見ないでください。

ラベル

ラベルの位置は図 **C** 参照



13 手入れ

- ➲ 本体の掃除は、水分を少し湿らせたやわらかい布で行ってください。
- ➲ 本体を水で濡らさないでください。
- ➲ 強力な洗剤や溶液は使用しないでください。

14 保証

Stabila LD 300 には、2 年間の保証が付いてます。

詳細については、お買い求めの販売店までご連絡ください。

図、説明、技術データについては、変更される場合があります。

15 廃棄

注意

不適切な廃棄による物的損害

- ➲ 本機や電池を廃棄する場合は、国内の廃棄指令に従って廃棄してください。
- ➲ 本機や電池を使用する権限のない人の手に渡らないようにしてください。

廃棄について、次のことを順守してください：

- ➲ 本機や電池を家庭廃棄物に入れないでください。
- ➲ 本機や電池は適切に廃棄してください。

本製品の取り扱い及び廃棄に関する情報は、Stabila ホームページ（http://www.stabila.de）からダウンロードできます。もしくはお買い求めの販売店にご請求下さい。